

2022年度第3回阪神競馬特別レース名解説

<第1日>

○ 皆生特別

皆生（かいけ）は、鳥取県米子市の温泉地。同地域は1981年に日本初のトライアスロン大会が開催されたことから、日本における「トライアスロンの聖地」としても知られる。

○ 垂水ステークス

垂水（たるみ）は、神戸市南西部の区。名は、垂れ水（滝）の滴りが尽きなかった場所があったことに由来し、万葉集では志貴皇子が「石ばしる垂水の上のさわらびの萌え出づる春になりけるかも」と詠んでいる。また、海苔の生産地としても有名。

○ サマーマイルシリーズ米子ステークス（L）

全4戦で実施されるサマーマイルシリーズの第1戦。

米子（よなご）は、鳥取県西部の市。農業、漁業が盛んで、白ねぎ・二十世紀梨・岩ガキ・松葉ガニなど特産品が豊富。

なお、同市にはJRAの場外勝馬投票券発売所であるウインズ米子がある。

<第2日>

○ 三木特別

三木（みき）は、兵庫県南部の市。室町時代には別所氏の城下町として栄えた。江戸時代から金物業が発達し、大工道具や園芸用具などの製造が盛んであり、酒米である山田錦の主産地としても有名。また、同市は馬事施設やキャンプ場等を併設する三木ホースランドパークの所在地でもある。

○ オークランドサラブレッドレーシングトロフィー

本競走は、競馬を通じて日本とニュージーランドの親善を図ることを目的として平成4年に創設された競走。

オークランドサラブレッドレーシングは、1874年に設立されたニュージーランド最大の競馬主催団体であるオークランドレーシングクラブを前身とし、2021年7月にカウンティーズレーシングクラブとの合併により現在の名称となった。エラズリー競馬場で3月に行われる『ニュージーランドダービー』は、3歳馬における同国最高峰の競走であり、交換競走の『JRA トロフィー』も行われている。

○ マーメイドステークス（GⅢ）

本競走は、平成8年に創設された牝馬限定の重賞競走。創設時より3歳以上、距離2000mで実施されている。当初は別定重量戦で行われていたが、18年よりハンデキャップ戦となった。

マーメイド（Mermaid）は、上半身が人で下半身が魚の伝説上の生き物である「人魚」を意味する英語。

<第3日>

○ 鷹取特別

鷹取（たかとり）は、神戸市須磨区の地名。大阪湾に注ぐ妙法寺川下流東岸を占めている。大正初期、鷹取駅北側の大池町に機関車修理工場が建設されてから発展した。現在は、跡地が住宅地として整備されている。

○ 水無月ステークス

水無月（みなづき）は、陰暦6月の異称。この時期は、青葉の茂る季節であることから「青水無月」とも呼ばれる。

○ 天保山ステークス

天保山（てんぼうざん）は、大阪市港区にある標高4.5mの人工山。天保2年（1831）におこなわれた安治川河口浚渫工事の際、土砂を盛り上げて築かれた。現在は大阪市ベイエリアの一角として発展している。

<第4日>

○ 城崎特別

城崎（きのさき）は、兵庫県豊岡市にある山陰海岸に面した温泉地。志賀直哉の小説『城の崎にて』の舞台にもなった。周辺には温泉寺や玄武洞などの名勝がある。

○ 舞子特別

舞子（まいこ）は、神戸市垂水区の地名。一帯は明石海峡に臨む浜辺で、明石海峡大橋で結ばれている淡路島を一望できる。古来より保養地として知られており、夏には多くの海水浴客で賑わう。

○ 花のみちステークス

花のみちは、阪急宝塚駅から宝塚大劇場に通じ、かつて武庫川の堤防であった中央部を利用している遊歩道。沿道は桜をはじめとする季節の花々にあふれ、宝塚を象徴する道として宝塚歌劇ファンや宝塚市民に親しまれている。

○ 宝塚記念（G I）

本競走は、昭和 35 年に創設された重賞競走。当初は 3 歳以上 1800m で実施されていたが、翌 36 年に 2000m となり、41 年から現行の 2200m となった。43 年以降は 4 歳以上となったが、62 年に再び 3 歳馬にも出走資格が与えられた。年末に中山競馬場で行われる『有馬記念』と同様、ファン投票によって出走馬が選定され、春の G I 戦線を締めくくる一戦として定着している。

宝塚（たからづか）は、兵庫県南東部の市。同市は阪神競馬場の所在地でもある。

○ リボン賞

リボン（Ribbon）は、紐状の織物のこと。勲章として用いられる他、衣服・帽子・頭髪や贈り物の装飾として結んだ形で使われることが多く、本競走は上半期の締めくくりとして第 3 回阪神競馬最終日最終競走に実施される。